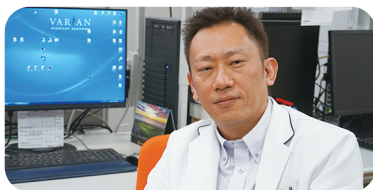


PET-CTがん検診について

今回は日本医学放射線学会専門医、小田尚吾医師に「PET-CTがん検診」について伺いました。



▲小田尚吾 医師

ドックの基本コースに加えて脳MRI検査や消化管内視鏡検査、マンモグラフィ検査などを組み合わせた様々なコースを用意しています。中でも他施設の間ドックと大きく異なる点として、当院ではPET-CTを使用した「PET-CTがん検診」をご用意している点です。

PET-CTがん検診はがん細胞が正常細胞よりもFDGという薬剤を投与し撮影するPET検査とコンピュータ断層撮影(CT)による形態学的な診断を組み合わせることで、がんの早期発見を目的としています。2005年〜2009年度の全国PET施設を対象としたアンケート調査ではPETがん検診で追加の精密検査が必要とされた率は10・9%、がんの発見率は0・96%という報告がなされています。また発見されたがんは「早期のがん(ステージI)」の例がほとんどを占めていました。

組み合わせることのできる発見率が高くなり、身近になったPET-CTがん検診を含め、当院の健診センターをがんの早期発見、早期治療に役立てていただければ幸いです。

昨今、今治を中心とする東予地区在住住民のみならず、なさまにおける健康への関心と予防医学の必要性の高まりに備え、当院では病院併設型健診センターを開設し、運用しています。当院では一般的な人間

PET-CTがん検診は、がんの早期発見を目的としています。2005年〜2009年度の全国PET施設を対象としたアンケート調査ではPETがん検診で追加の精密検査が必要とされた率は10・9%、がんの発見率は0・96%という報告がなされています。また発見されたがんは「早期のがん(ステージI)」の例がほとんどを占めていました。

社会福祉法人



恩賜財団

済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号 <https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

☎ 0898-47-2500

